

令 4

数 学  
問 題 用 紙

1 次の問いに答えなさい。

(1) 次の①～④の計算をしなさい。

①  $4 - (-9)$

②  $\sqrt{6} \times \sqrt{3} - \sqrt{8}$

③  $6a^3b \times \frac{b}{3} \div 2a$

④  $\frac{x+6y}{3} + \frac{3x-4y}{2}$

(2) 2次方程式  $(x+3)(x-7)+21=0$  を解きなさい。

2 次の問いに答えなさい。

(1) 連立方程式 
$$\begin{cases} ax + by = -11 \\ bx - ay = -8 \end{cases}$$
 の解が  $x = -6, y = 1$  であるとき、 $a, b$  の値を求めなさい。

- (2)  $-3, -2, -1, 1, 2, 3$  の数が一つずつ書かれた6枚のカードがある。その中から1枚のカードをひき、もとに戻し、再び1枚のカードをひく。1回目にひいたカードに書かれた数を  $a$ 、2回目にひいたカードに書かれた数を  $b$  とする。

このとき、点  $(a, b)$  が関数  $y = \frac{6}{x}$  のグラフ上にある確率を求めなさい。

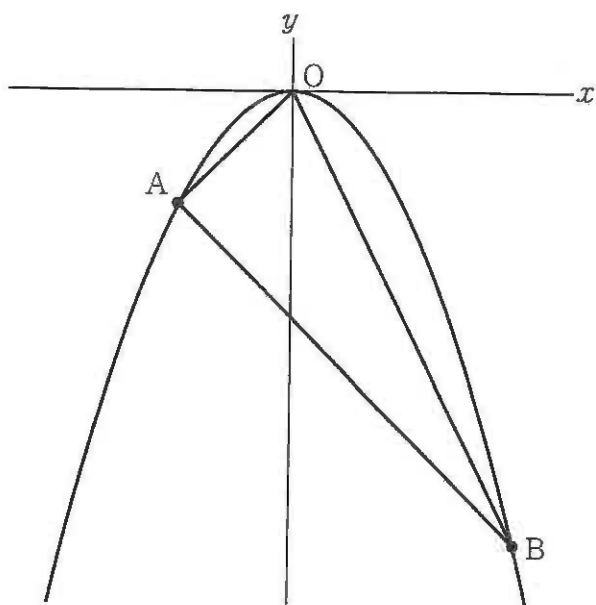
ただし、どのカードがひかれることも同様に確からしいとする。

- (3) ある洋品店では、ワイシャツを定価の3割引で買うことができる割引券を配布している。割引券1枚につきワイシャツ1着だけが割引される。この割引券を3枚使って同じ定価のワイシャツを5着買ったところ、代金が8200円だった。このとき、ワイシャツ1着の定価を求めなさい。

ただし、消費税は考えないものとする。

- (4) 下の図のように関数  $y = -x^2$  のグラフがある。このグラフ上の点で、 $x$  座標が  $-1$  である点を  $A$ 、 $x$  座標が  $2$  である点を  $B$  とする。このとき、 $\triangle OAB$  の面積を求めなさい。

ただし、原点  $O$  から点  $(1, 0)$  までの距離と原点  $O$  から点  $(0, 1)$  までの距離は、それぞれ  $1\text{ cm}$  とする。



図

3 コンピュータの画面に、正方形 ABCD と、頂点 B を中心とし、BA を半径とする円の一部分が表示されている。点 P は 2 点 B、C を除いた辺 BC 上を、点 Q は 2 点 C、D を除いた辺 CD 上を、それぞれ動かすことができる。太郎さんと花子さんは、点 P、Q を動かしながら、図形の性質や関係について調べている。

このとき、次の (1)～(3) の問いに答えなさい。

(1) 右の図 1 のように、線分 AQ と線分 DP の交点を R とする。∠PDC = ∠QAD であるとき、△DPC ≅ △DQR であることに太郎さんは気づき、下のように証明した。

□ a □ ~ □ c □ に当てはまるものを、  
 □ の選択肢の中からそれぞれ一つ選んで、  
 その記号を書きなさい。

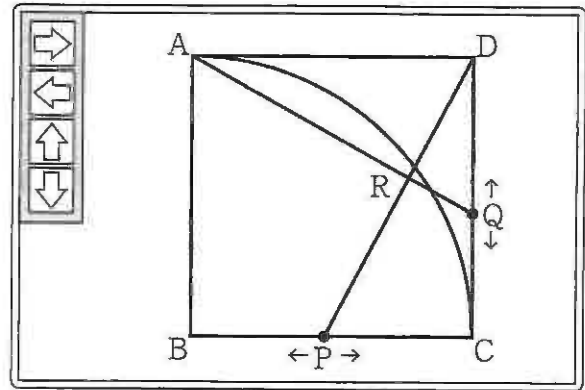


図 1

(証明) △DPC と △AQD において、  
 仮定から、∠PDC = ∠QAD …①  
 四角形 ABCD は正方形だから、  
 $DC = AD$  …②  
 $\angle DCP = \angle ADQ = 90^\circ$  …③

①、②、③より、1 組の辺とその両端の角がそれぞれ等しいので、

$$\triangle DPC \cong \triangle AQD \quad \dots ④$$

また、△DPC と △DQR において、

④より、合同な図形の対応する角は等しいので、

$$\angle DPC = \angle \boxed{a} \quad \dots ⑤$$

また、共通な角だから、

$$\angle PDC = \angle \boxed{b} \quad \dots ⑥$$

⑤、⑥より、□ c □ ので、

$$\triangle DPC \cong \triangle DQR$$

a、b の選択肢

- |       |       |
|-------|-------|
| ア DQR | イ QRD |
| ウ QDR | エ DCP |
| オ ADP | カ RAD |

c の選択肢

- ア 3 組の辺の比がすべて等しい
- イ 3 組の辺がそれぞれ等しい
- ウ 2 組の辺の比が等しく、その間の角が等しい
- エ 2 組の角がそれぞれ等しい

- (2) 下の図2のように、線分AQと弧ACとの交点をEとすると、点Qを動かしても $\angle AEC$ の大きさは一定であることに花子さんは気がついた。 $\angle AEC$ の大きさを求めなさい。

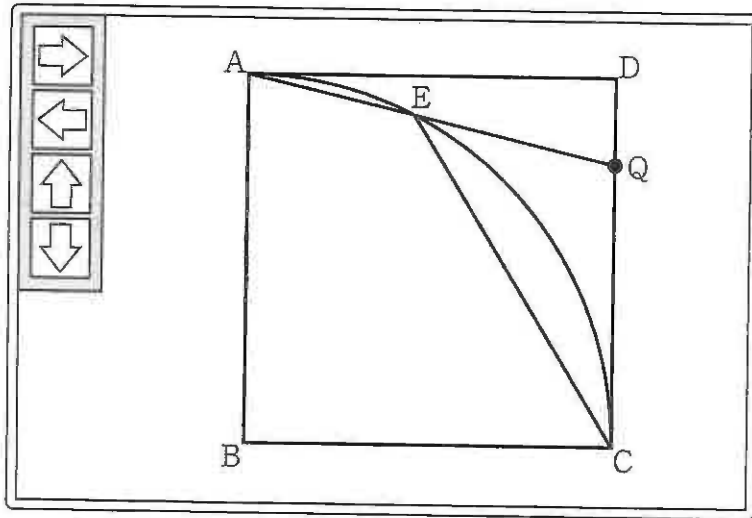


図2

- (3) 下の図3のように、点Pを辺BCの中点となるように動かし、線分PDと弧ACとの交点をFとする。正方形ABCDの1辺の長さを10cmとすると、線分PFの長さを求めなさい。

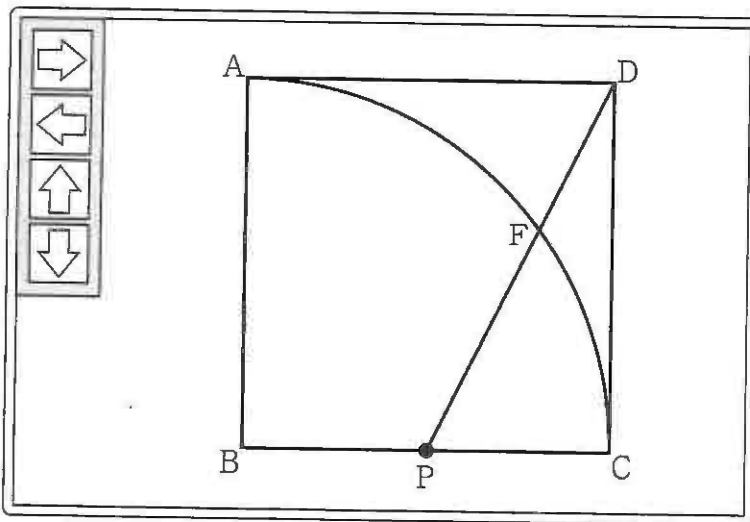


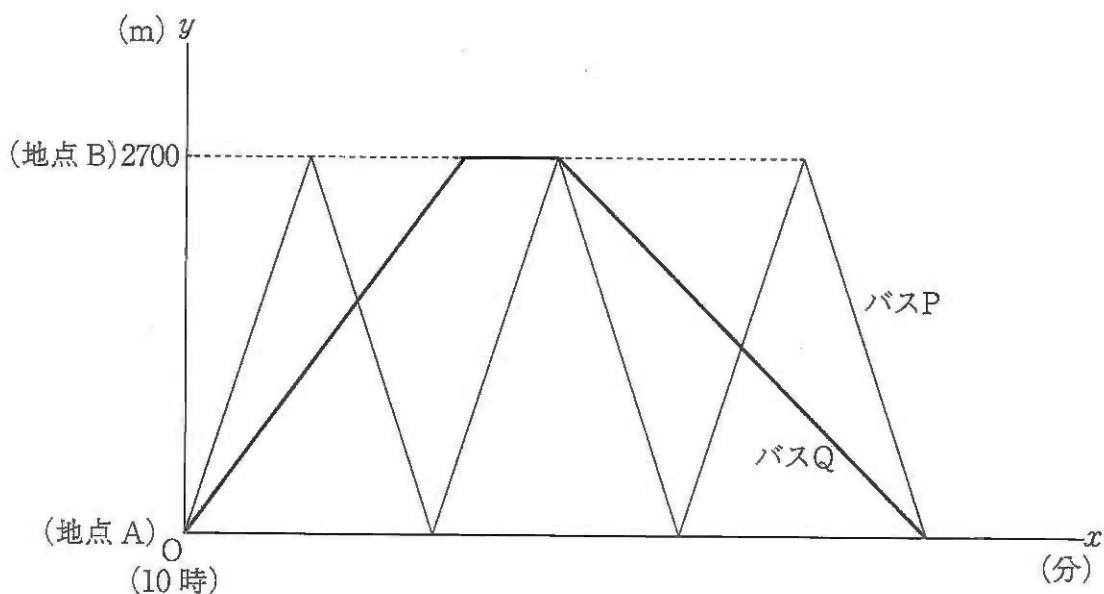
図3

4 S町では、2700m離れた2地点A、B間で、2台の無人自動運転バスP、Qの導入実験を行った。下の表は、バスP、Qの走行の規則についてまとめたものである。また、下の図は、地点Aを出発してから $x$ 分後の地点Aからの距離を $y$ mとして、 $x$ と $y$ の関係をグラフに表したものである。

ただし、2地点A、Bを結ぶ道路は直線とする。

表

バスP	午前10時に地点Aを出発し、実験を終了するまで一定の速さで走行する。 2地点A、B間を片道9分で3往復する。 バスQと同時に地点Aに戻り、実験を終了する。
バスQ	午前10時に地点Aを出発し、地点Bまで一定の速さで走行する。 地点Bに到着後、7分間停車し、その間に速さの設定を変更する。 バスPと同時に地点Bを出発し、地点Aまで一定の速さで走行する。 バスPと同時に地点Aに戻り、実験を終了する。



図

このとき、次の(1)、(2)の問いに答えなさい。

(1) ① バス P が 2 回目に地点 B に到着した時刻を求めなさい。

② バス Q の、地点 B に到着するまでの速さは分速何  $m$  か求めなさい。

(2) 2 地点 A、B を結ぶ道路上に地点 C がある。地点 C を、地点 A に向かうバス Q が通過した 8 分後に、地点 A に向かうバス P が通過した。地点 C は地点 B から何  $m$  のところにあるか求めなさい。



5 A組、B組、C組の生徒について、6月の1か月間に図書館から借りた本の冊数を調査した。  
このとき、次の(1)、(2)の問いに答えなさい。

(1) 下の図1は、A組20人について、それぞれの生徒が借りた本の冊数をまとめたものである。

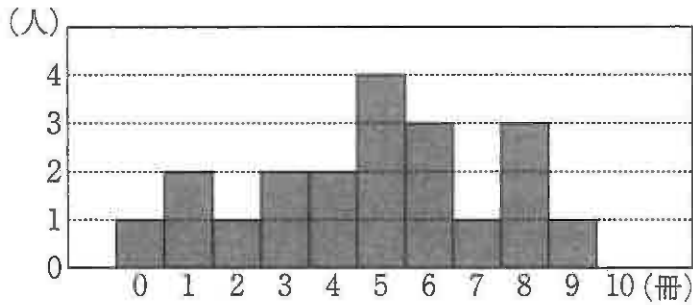
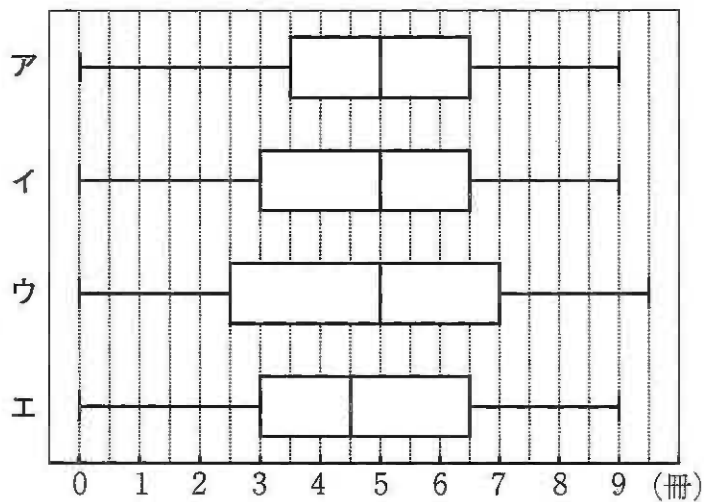


図1

① 本の冊数の平均値を求めなさい。

② 図1に対応する箱ひげ図を、次のア～エの中から一つ選んで、その記号を書きなさい。



- (2) 下の図2は、B組20人とC組20人について、それぞれの生徒が借りた本の冊数のデータを箱ひげ図に表したものである。これらの箱ひげ図から読み取れることとして、下の①～④は正しいといえるか。「ア 正しいといえる」、「イ 正しいといえない」、「ウ これらの箱ひげ図からはわからない」の中からそれぞれ一つ選んで、その記号を書きなさい。

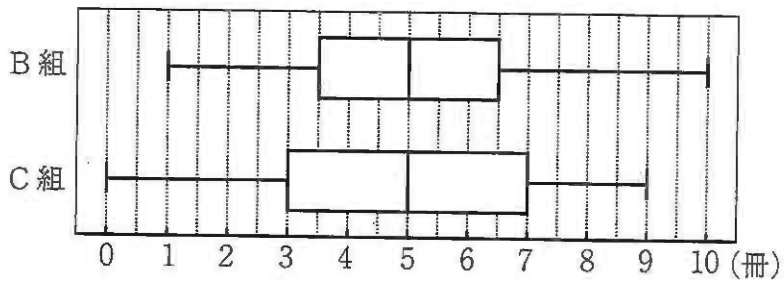


図2

- ① B組とC組の四分位範囲を比べるとB組の方が大きい。
- ② B組とC組の中央値は同じである。
- ③ B組もC組も、3冊以下の生徒が5人以上いる。
- ④ B組とC組の平均値は同じである。

6 右の図1のような、底面の半径が2 cm、母線の長さが6 cm、高さが $4\sqrt{2}$  cm、頂点がOの円すいがある。

このとき、次の(1)～(3)の問いに答えなさい。

ただし、円周率は $\pi$ とする。

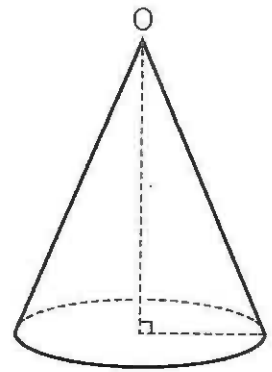


図1

(1) この円すいの体積を求めなさい。

(2) この円すいの表面積を求めなさい。

(3) 下の図2のように、この円すいにおける底面の直径の一つをABとする。点Pは線分OA上の点で $OP = 2$  cmであり、点Qは線分OB上を動く点である。点Bから点Pを通るようにして点Qまでひもをかける。ひもの長さが最短となるように点Qをとるとき、そのひもの長さを求めなさい。

ただし、ひもの太さや伸び縮みは考えないものとする。

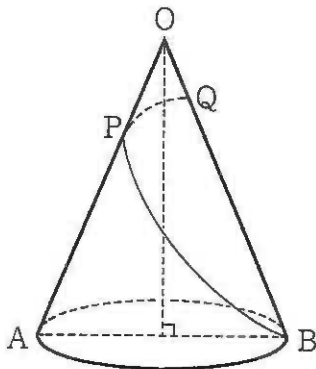


図2

(注意) 採点上の留意点に別解や許容範囲について記載がない場合は、標準解答のみを正答とする。

問題	標準解答		配点	採点上の留意点	
1	(1)	① 13	4点	20点	
		② $\sqrt{2}$	4点		
		③ $a^2 b^2$ ( $b^2 a^2$ )	4点		
		④ $\frac{11}{6}x$ ( $\frac{11x}{6}$ )	4点		
	(2)	( $x=$ ) 0, 4	4点		
2	(1)	( $a=$ ) 2 ( $, b=$ ) 1	5点	20点	・両方できて正答とする。
	(2)	$\frac{1}{9}$	5点		
	(3)	2000 (円)	5点		・「円」を記入しても可とする。
	(4)	3 (cm <sup>2</sup> )	5点		・「cm <sup>2</sup> 」を記入しても可とする。
3	(1)	a ア b ウ c 工	4点	15点	・a～c がすべてできて正答とする。
	(2)	135 (度)	5点		・「度」°」を記入しても可とする。
	(3)	$3\sqrt{5}$ (cm)	6点		・「cm」を記入しても可とする。
4	(1)	① (午前) 10 (時) 27 (分)	4点	15点	・「時」「分」を記入しても可とする。
		② (分速) 135 (m)	5点		・「m」を記入しても可とする。
	(2)	1500 (m)	6点		・「m」を記入しても可とする。
5	(1)	① 4.8 ( $\frac{24}{5}$ ) (冊)	4点	15点	・「冊」を記入しても可とする。
		② イ	5点		
	(2)	① イ ② ア ③ ア ④ ウ	6点		・①～④がすべてできて正答とする。
6	(1)	$\frac{16\sqrt{2}}{3}\pi$ ( $\frac{16}{3}\sqrt{2}\pi$ $\frac{16\sqrt{2}\pi}{3}$ ) (cm <sup>2</sup> )	4点	15点	・「cm <sup>2</sup> 」を記入しても可とする。
	(2)	16 $\pi$ (cm <sup>2</sup> )	5点		・「cm <sup>2</sup> 」を記入しても可とする。
	(3)	$2\sqrt{7}+\sqrt{3}$ ( $\sqrt{3}+2\sqrt{7}$ ) (cm)	6点		・「cm」を記入しても可とする。